



北部教育研修センター

(北部教育研修センター実証実験事業)

センターだより第6号

2019年11月13日(水)

沖縄県名護市字為又 1220-146
北部教育研修センター

発行責任者

センター長 高安美智子

秋も深まり、充実の秋、実りの秋を迎えました。

教員養成講座は、2017年度に始まった「北部教育職員養成講座」を引き継ぎ、今年度は3回目の「教員候補者選考試験」を終えました。8月中旬に第1次選考試験の合格発表があり、県内15名、県外7名の22名が合格し、第2次試験に挑戦しました。10月下旬に最終合格発表があり12名が見事合格しました。(右のグラフ・表を参照) その内訳は、小学校7名(名桜大生1名)、養護教諭3名(名桜大生2名)、高校国語1名、中学社会1名でした。

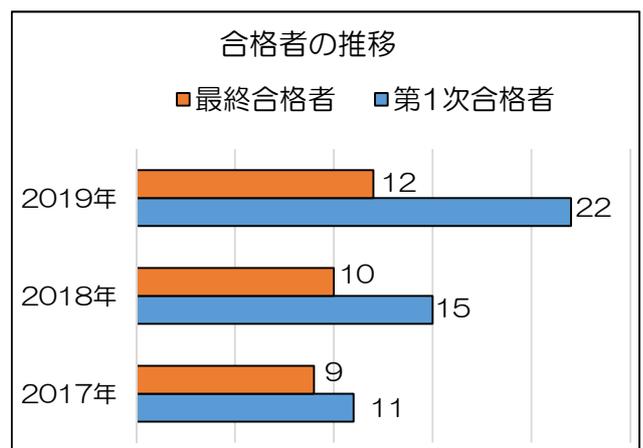
合格者の皆さんおめでとうございます!

さて、本講座は2020年度実施の採用試験に向けて、11月7日(木)に後期の開講式を迎えました。今回の講座申込数は、定員の70名に達しました。講師も、受講生と一体となって新たな挑戦に邁進してまいります。

一年後に、さらに実り多い秋を迎えるために。

《教員候補者選考試験の合格者数の推移》

	2017年	2018年	2019年
県内1次合格	10	10	15
県外1次合格	1	5	7
第1次合計	11	15	22
最終合格	9	10	12



2019年度 北部教育研修センター研修 後期プログラム② 11/6現在

期日	時間	研修名 講師名等	対象 場所
11/18(月)	15:30~17:30	小学校プログラミング演習 講師:中里収(名桜大学教授)、天願健(名桜大学教授)	小学校 北部生涯学習推進C
12/16(月)	10:50~12:00	指導主事・社会教育主事研修会 講師:今帰仁村教育委員会 上間哲朗氏(キャリア教育コーディネーター)	指導主事等 北部生涯学習推進C
調整中	調整中	教育講演会 講師:鈴木健二先生(愛知教育大学)	全校種 北部生涯学習推進
12/19(木)	17:00~18:30	算数・数学を楽しむ「折り紙教室」 講師:高安美智子(名桜大学教授)	全校種 北部生涯学習推進
1/20(月)	9:00~12:00	管理職リーダーシップ研修会③ 校長対象 兵庫教育大学日渡円特別教授・他	全校種校長 北部生涯学習推進C
1/20(月)	13:00~16:45	ミドルリーダー対象(情報収集) 兵庫教育大学日渡円特別教授・他	全校種教諭 北部生涯学習推進C
1/22(水)	15:00~16:45	アクティブラーニング実践報告会 講師:相川輝明先生(兼次小) 上間哲朗(今帰仁村CC)	全校種 羽地小学校
2/18(火)	13:50~16:45	【中学校保健体育(空手)公開授業】 講師:玉城学先生(久辺中学校教頭)	中学校 名護市立久辺中学校
3/12(木)	14:30~16:45	新規採用予定者研修会① 教師の心構えと学級開き	全校種 北部生涯学習推進C
3/25(水)	14:30~16:45	新規採用予定者研修会②・臨時的任用教員 3/12に参加出来なかった者 教師の心構えと学級開き	全校種 北部生涯学習推進C

※ 日程は11月6日時点のものです。今後、追加や変更もありますのでご注意ください。

2019年度研修報告（その2）

◆中学校英語教諭研修会

9月6日(金) 会場：北部生涯学習推進センター
テーマ：「授業実践報告&英語スピーキング評価
基準表について」

発表者：崎浜功美 今帰仁中教諭

内容：崎浜教諭が夏季休業中に行った県外自主研修の報告やこれまでの授業実践によるジグソー法の紹介や各種アクティビティーの演習を行い、中・高の英語専科の教員との情報交換や参考図書を紹介等により、アットホームで実践的な研修となった。

タスクとは1つのテーマを持った学習活動といえますが、崎浜教諭は「タスクの条件」として、

- ①活動成果の重視
- ②意味へのフォーカス
- ③自然な認知プロセス
- ④学習者の主体的関与、の4つをあげた。

まとめとしてタスクやドリルもパフォーマンステストが必要なことやビッグクエスチョン(単元目標)に照らした評価について今後も研究を進めていくことが確認された。



＜参加者の感想から＞ 参加者 16名

- ・task!!とは何か、について考えられたところや、ユニバーサルデザインのワークシートも参考になりました。
- ・書かせる帯活動、根気強く続ける大切さが伝わりました。また Lesson における task の豊富さは、すごいと思いました。
- ・タスクの定義や具体的な Activity のアイデア、すぐに実践できる活動が多くあったので、授業に取り入れていきます。言語ゲーム→タスクの流れを作りあげていきたいです。
- ・タスクと言語ゲームの違いを理解しました。どちらかに偏ってしまったら、生徒の力がバランス良くつかない。生徒の身になる展開を考えたい。
- ・様々な言語活動の事例があって、教壇実践の中でも使いたいと思った。

◆スーパーティーチャー招聘事業

9月20日(金) 会場：名護小学校多目的教室
テーマ：公開授業:「小学校 道徳」「講演会」
授業者：菊池省三先生

内容：教材として使ったのは成人式の数枚の写真であった。一人の青年の成人式での出来事について説明をし、子どもたち一人一人の考えを尊重しながら対話を続けていった。まとめでは、児童の言葉から「思いやり」「真摯な態度」「責任ある仕事」「誇り」等、青年のとした行動の価値を意識させていった。

「こういったことのできる人を、大人(たいじん)といいます。」と、子どもたちに考えさせるメッセージを送って終了した。



＜参加者の感想より＞

- ・対話的な学びのためのグラドルールを作ることや授業者が子どもたちに安心感を与え、自分のことばで言わせる姿勢をもつことが学級経営や授業改善につながると納得しました。
- ・「ほめて自覚させ、良い行動様式を学級中に広げる」という菊池先生の素晴らしさに触れることができ、非常に感銘を受けました。
- ・生徒とのやり取りや先生の言葉や雰囲気づくり等の授業づくりが非常に参考になりました。
- ・立ち歩いて意見交換の際に「一人を作らない」という意識が子どもたちに身についていくこと



◆アクティブラーニング合同授業

(小学校外国語活動)

9月26日(木) 会場：伊是名小学校

授業者：名桜大学・玉城本生先生と英語担当、ALT、
大学生支援員5名

授業：伊是名小学校の学校の担任とALTで単元の調整を図り、英語のアクティブラーニング合同授業を行った。

内容：玉城先生とALTが、Can、Can'tの使い方のデモンストレーションを行い、その後、大学生の支援員(5名)が自己紹介を行い、各グループに入り英語でコミュニケーションを図った。様々な場面を通して支援員が「Can ○○○、Can You ○○○?」の対話を5グループ交代しながら行うことで英語に親しみ、Can、Can'tの理解を深めた。



<参加者の感想より>

- 英語をよく聞いて、体を動かす活動を行い、楽しみながらウォーミングアップをすることができて良かった。
- 何を話しているかを集中して聞けるように動作を交えていた。子どもたちもどのようなやりとりをしているかを理解することができていた。
- 「can」の導入だったので、次回以降の見通しも持ちやすいねら良かった。ある程度子どもに予想させたり、ジェスチャー、表情から読みとらせてねらいを提示されていたのが良かった。
- 「学生さんに話さなきゃー」という必然性があった。子どもたちもやる気が出ていたと思った。また、学生さんの「聴くよ。教えてね。」という姿勢が良かった。
- Warm up にあたるゲームがわかりやすく面白く、生徒の笑顔を見ていた。良い導入だった。
- I can、I can't を用いてポジティブなメッセージが受け取ることができ良い締めくくりだった。

◆管理職マネジメント研修会③(教頭編)

10月4日(金) 会場：生涯学習推進センター
目的：学校管理職の能力、専門性を高めるために、
学校管理職に必要な「応用力」を構築する。

講師：兵庫教大マネジメント研究会・池田宏先生
テーマ：架空の朝日南中学校の校長として学校教育目標を設定する。

内容：これまでのマネジメント研修の考え方を基に「現状を把握」したものと、ありたい姿～課題を設定する。」

○ありたい姿を目的と目標ととらえ、それを「学校教育目標」として設定する。

○個人ワーク、グループワークを行いグループでの統一見解を設定する。



<参加者の感想より>

- 教頭として、学校経営のビジョンを考え、校長へ意見や方策を具申していく。職員一人一人の職能向上へつなげたい。
- ありたい姿を考えるプロセスを利用して、今一度現在任校の学校目標等を考えてみたい。
- 情報収集、分析、構想に必要な力を知ることが出来て、これからの実践にいかしていく。特に現状の把握においては、広い(様々な)視点で捉えることが大切だと感じる(偏りがなく)。
- 分析をすることの大切さ。自分の考え方のくせやかたよりに気づいた。他の意見をきくこと、対話すること、共有することの大切さを感じた。
- グループワーク後に想定される保護者、地域の方に説明する場というのは、非常に有効だったと思う。言葉遊び、丁寧な説明の重要性が分かった。
- 学期に一回はぜひ受講し、自分自身をふりかえらせていきたい。
- 働き方改革の具体的な考えに今後活かしていきたい。

◆管理職マネジメント研修会④（校長編）

10月4日（金）会場：生涯学習推進センター
講師：兵庫教大マネジメント研究会・池田宏先生
テーマ：架空の朝日南中学校の校長として学校教育目標を設定する。

内容：これまでのマネジメント研修の考え方を基に現状を把握し、「ありたい姿」を設定した。さらに、具体策を考え・実行に移す過程（企画）を演習した。

- 「ありたい姿」に向けた方策を「企画」する際、出された案を「検討」、「改善」し、「決定」するための考え方や観点を学ぶ。
- 個人ワーク「学校給食の地域への開放」の内容を検討するにあたっての「検討基準」を考える。
- グループワーク 個人で考えた検討基準を MUST 基準と WANT 基準に分ける。
- 4 グループが順番に検討基準の MUST 基準と WANT 基準の発表とその理由を説明する。



＜参加者の感想より＞

- 学校が持っている各分掌のデータを全て集めて、全職員で共有し、内容を検討し、活用する方策を考えてみたい。
- 教師集団で、Must と Want 基準で意識改革や共有するために授業づくりに活用してみたい！
- MUST 基準、WANT 基準、行事、教育課程編成に取り入れて、取りくんで見たいと思います。
- 他校長の考え方、見方にふれることができた。多くの学びがあり、実践に生かせる研修であった。
- 校長（日頃は孤独・・・）が集まって協議する研修はなかなかないので、大変貴重です。ぜひ、次年度もお願いします。
- トップダウンでおろすことより、基準を示すことが職員の成長にもつながり、よい学校経営ができると感じた。

◆スーパーティーチャー招聘公開授業

10月18日（金）会場：名護市立大宮中学校
講師：岐阜聖徳学園大学教授・玉置崇先生
テーマ：数学的な見方・考え方を働かせる授業
[公開授業]

内容：「分母がすべて共通で、分子が1～100までの分数の和が101になるとき、分母はいくらになるでしょうか？」という問題を提示し、3項、4項の場合から順に調べさせ、規則性を発見させるという授業であった。

[講話]

数学的な見方・考え方とは何か、それをどう働かせるか、授業づくりの原則等の話題を中心に興味ある教材を紹介していた。



＜参加者の感想より＞

- 教科書にない気づきを教師がサポートするなど、授業で実践できる内容をたくさん聞き、勉強することができました。
- 数学の授業を楽しく受けているが、子どもが自由に意見を言える。それを拾って、価値付けする。とても勉強になりました。
- 見方・考え方を働かせる授業のコツを教えていただき、他の教科にも活かしていきたいと思えます。授業の本質について教えて頂き、とても貴重な授業であり、講話でした。
- 生徒から出た言葉をひろいながら問い返して議論させる授業。最初の講演で、見方・考え方を鍛えていることがわかりました。
- これから身につけるべき力を知ることができました。社会が変わっていくにつれて、私達も柔軟に変えていきたいです。
- 授業＋講演会の形はとても良いと思えます。
- 講話時間が短かった。もう少し話を聞きたかった

◆養護教諭・安全担当研修会

10月25日(金)会場：北部生涯学習推進C

講師：岡山大学教授・宮本香代子先生

名桜大学准教授・神田奈津子先生

テーマ：「ヒヤリ・ハットから考える学校安全と
養護教諭の役割」

[内容]

○危機管理の意義と役割（ハイン・リッヒの法則）

○危機管理は校長のリーダーシップが重要である。

そこで、養護教諭の専門性に基づいた的確な情報提供が求められる。

○学校事故対応に関する指針を絶えず確認することが重要である。

○事前のリスクマネジメントと事後のクライシスマネジメントが重要である。(以下略)

[演習] 校内で教職員と考える危機管理のテーマを上げ、グループで方策と課題を挙げて発表する。



<参加者の感想より>

- ・グループで話し合った内容で、今後の学校安全に役立てそうなヒントが一杯出たので活用できるようにマニュアルや資料の作成に繋げていきたい。
- ・答申を活用して校長先生にリーダーシップを取ってもらって子ども達の安全を守って行きたい。
- ・養護教諭不在時の対応法を練り直します。
- ・日ごろ考えていたことが共有できたことで、行動に移すことができそうです。1人職だからこそ、このような研修は大切だと感じました。
- ・職員間の意識の差についてはどこの学校でも課題であることがわかった。その差を少しでも埋められるよう対策を考えていきたい。
- ・それぞれのグループ発表を聞いていると課題の内容は違うものの、根本の悩みは同じだなと感じました。その中で、方策が沢山でていたので、今後の参考にしたいです。
- ・養護の研修を増やして情報共有していきたい。

◆菊池省三先生の授業分析会

& 菊池道場沖縄本島支部勉強会

10月26日(土)

会場：北部生涯学習推進センター

テーマ：「言葉を大切にした学級経営」

内容：9/20(金)に名護小学校で行われた道徳の公開授業の動画を視聴し、菊池先生の児童への対応や授業実践の方法等について検討した。

ODVDの公開授業を視聴し、導入・展開・まとめ等を各場面ごとに分析し、参加者が共有する。

○菊池学級の取組の学級の成長記録を確認する。

○菊池道場沖縄支部の勉強会の取組を紹介するとともに、「学び続ける教員」について、北部の教員と菊池道場本島支部の意見交換を行なう。

<参加者の感想から>

- ・価値づけをしながら、授業規律や支持的風土を育てる実践に取り組みたいと思います。
 - ・実践の様子が見ることができてよかった。共有することができた。
 - ・授業の流れの中で望ましい行為を意味付けして共有し、強化する。そうやって授業規律や生活規律を授業の中で定着させているのがすごい。それを見習って取り入れたい。
 - ・力のある県外の先生の公開授業をライブで見られるのが嬉しい。また、今回のようにその授業を映像で振り返れるのもよい研修になります。また、企画して貰えたら嬉しい。
 - ・一人で授業を見て感じていたことよりも他の先生方の話を聞いてとても見立てが深まった。
 - ・菊池道場支部の方々の実践力に感銘を受けた。
 - ・多くの先生方の研修意欲を感じることができた。
- 月一回のペースで勉強会を行っている菊池道場沖縄本島支部の教員との交流や連携を図ることで北部でも学び続ける教員を育てていきたい。



◆アクティブラーニング研修会

10月29日(火)

授業者 石川清一 本部町立本部中学校校長

テーマ 「国語科の古典分野における授業改善」

会場：国頭村立国頭中学校 1年B組

内容：【授業内容】 ○単元名 古典に学ぶ

○本時のねらい 仮名遣いやリズムに注意して音読し、物語の大まかな内容を知る。

【導入】大型絵本を活用し、竹取物語の概要を想起させる。(中学校最初の古典の教材なので興味・関心を高めさせるのがねらい)

【展開】①竹取物語に対する様々な発問(かぐや姫、時代、作者等) ②歴史的仮名遣い、現代仮名遣いについて説明する。③教師が原文を範読する。④グループで原文の読みを練習する。その後、グループの代表に読んでもらう。

【まとめ】ワークシートを準備し、めあてと連動したまとめ・振り返りを行う。



＜参加者の感想から＞

- 絵本を見せることで生徒の興味・関心を高めていたので導入の大事さを改めて知ることができた。
- まずは、何度も音読をさせ、リズムをつかませ、仮名づかいに慣れさせ、まとめの段階で歴史的仮名づかいをプリントで確認させるという流れを学ぶことができた。
- 本文をまずは読み込ませる。(教師が読み方を終えたあと、生徒に読ませる授業を私はしていたので、それだと生徒自身の気づきが薄かったと思う。今日の授業だと、生徒が歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを主体的に気づけたと思う。
- 石川先生の丁寧な音読で生徒をひきつけていたところがとても印象的でした。授業の中での生徒との関わり方もとても丁寧で勉強になりました。

◆北部地区算数・数学授業研究会(案)

11月1日(木) 会場：国頭教育事務所

北部教育研修センターでは、設立と同時に算数・数学研究会を発足させ、小・中学校の先生方と本センター教員の、5名で授業づくり勉強会及び実践報告書の作成、実践発表を行ってきました。今後はこの活動を、その趣旨に賛同する多くの方に広げ、北部地区の算数・数学研究会として、授業づくりの研究会を実施したいと考えています。

そこで、去る11月1日には本センター主催で北部地区算数研究会の会長及び数学研究会会長や算数・数学の指導主事等の10名が一同に会し情報交換会を開催しました。

北部地区の児童生徒の算数・数学の学力向上には、教員の授業力を高めることも重要であることが話し合われました。また、新学習指導要領で求められている「見方・考え方」を重視した授業改善に真摯に取り組むことが必要であること、全国学力テストの小学校「算数」はなぜ向上できたのか、中学校の現状はどうか等、活発な意見交換ができました。その中で、小学校の先生方の授業力が向上していること、学級経営力のある先生ほど教科指導力が高いこと等に対して賛同する意見が多く出されました。さらに、小学校では学内で授業づくりの話し合いが、随時行われているということでした。一方、中学校では部活動の指導後に教材準備を行う先生もおり、退勤時間が遅くなる等、教員の多忙を懸念する声が出され、現状の教員の多忙化を考慮すると、研究会への参加は厳しい状況があるという率直な意見も出されました。現在、校内研修で授業改善に努めている学校や、校内の研究授業を近隣校にも呼びかけ参加してもらっているという報告もありました。さらにラインを使って授業づくりの情報交換会や、板書をラインで紹介するなど、それぞれの教員が工夫しながら、切磋琢磨して取り組んでいるという頼もしい紹介もありました。

今回の話し合いでは、研究会の方向性の具体案はまとめられなかったものの、北部地区算数・数学研究会についての話し合いは、引き続き開催することを確認し会は終了となりました。

◆特別支援教育研修会

11月2日(土) 14:00~16:30

名桜大学学生会館3F 大講義室 A

テーマ：通常の学級でできる「発達につまづきがある
子供を輝かせる授業と学級経営」

講師：川上康則（東京都立矢口特別支援学校主任教諭

内容：「ちょっと気になる子」への支援

内容の一部を紹介する。

1. 児童生徒の困難さの状態に対する工夫・配慮の意図

○手立ての整理 ①間違っても否定されない安心感、

②スピードを落とす。③言語支持 ④視覚支援

⑤モデリング ⑥身体ガイド

2. 子ども理解の守備範囲を広げよう！

3. 熱心な無理解者「子どもの状態を理解せず、熱心と言
われる積極的な指導・支援がかえって当事者の状態を
悪化させる人」にだけはならないようにしよう。

4. 教室内に不用意に吹かせている「風」を自覚しよう

「風」とは、教師の立ち居ふるまいや言葉である。

- ・大声での強い指導→その場に「**鋭い風**」が吹く
- ・言語だけで一方的に指導される場面→「**尖った風**」
- ・パニックを無理やり抑え込んだり、ペースを考えずに
ただ動かそうとしたり、機械的にカームダウンスペース
に連れていったりする→「**不穏な風**」を感じる
- ・大げさに褒められる、意欲を鼓舞される

→「**熱い風**」だと受け取られる

5. 教室に「**尖った不穏な風**」を吹かせる毒語

1) 質問形式の問い詰め

「何回言われたら分かるの？」

2) 裏を読ませる言い方

やる気がないんだったら、もうやらなくていいから

3) 脅して動かそうとする

はやくやらないと、□□させないよ。

4) 虎の威を借る言い方

校長先生に叱ってもらうから。

5) 下学年の子と比較する

そんなこと1年生でもやりません。

6) 見捨てる

じゃあ、もういいです。・さよなら。バイバーイ。

6. 子どもはルールよりも「**ラポール**」に従う

マイナス表現は教師の焦りの裏返しであることが多い。子どもを変えようとするのではなく、「この人の
話は聞く価値がある」という**ラポール(信頼関係)**づ
くりが欠かせない。

7. 崩れる学級の子どもの本音を知ること。

8. お試し行動を出しやすい子の対人意識

支援者のタイプ	子どもの反応
1) 威圧的・高圧的	その人の前だけはおとなしい。いなくなると荒れる。その人がいるだけで落ち着かなくなる。
2) 機械的な対応	励まされた、誉められたという実感がないので、行動修正につながりにくい。
3) 表情に動揺が出てしまう	からかいのターゲットになりやすい。
4) 要求どおりに応えすぎてしまう(ハートフルすぎる)	王様のようにふるまう行動がエスカレート、手に負えなくなることも
5) プレない、動じない、揺らがないかつ、その子の持ち味を引き出す	落ち着いて行動できるようになる。完全に問題行動が消えるか、漸減する。

- ◆通常学級では、対象児だけを取り上げて支援しようとするクラスが落ち着かなくなる。
- ◆対象児への個別支援よりも先に、学級経営を優先させよう！



<参加者の感想>

- ・川上先生のお話は特別支援に限ったことではなかったと思います。特支という視点から見た「教育」という考え方が、もっと特支以外の先生に広がってほしいと思います。
- ・子ども達に心地良い居場所を作るように工夫していきたいと思います。子どもの「学びにくさ」が分かる教師になりたいと思いました。
- ・日々の自分の行動、指導と思っていた行動を再度考えさせる講演となりました。ほめ上手になれるように子ども達の価値を見つけ輝けるように努めていきたいと思う。
- ・お試し行動を出しやすい子の対人意識がわかりました。対処法もわかったので、どのように向き合えばよいかわかりました。また、気になる子を気にしすぎる子への対処をどうしようかと思っていましたが、対処法がわかりやすかったです。
- ・特別な支援を必要とする児童が通常学級にも多くいるので今回の研修は勉強になりました。

- ★ 特別支援教育研修会（川上康則教諭）資料より
- 特別支援教育とは、うまくいかないことがある子どもの価値を高める教育である。
- 個別的な手立ても大切だが、それ以前に実は、個別的な事情をわかってあげられる教師・支援者でいることが何よりも重要である。
- 子どもが前向きに動こうとしている姿をためらわずに後押ししよう。
- 自分に価値がある、と思うときにだけ人は勇気を持てる。（アドラー）
- 人は、人の役に立ててこそ生きる喜びがある。（ヘレン・ケラー）

★よい授業の条件(ある退職校長の実践より)

- 1 魅力的な「授業のスタート」
- 2 巧みな授業の組み立て（授業構想）
- 3 明確でぶれない発問・指示
- 4 子どもが考える場面や活動する時間の確保
- 5 心地よいリズムとテンポがある授業の流れ
- 6 適切な「子どもへの対応、受け答え」
- 7 有効で効果的な手立て
- 8 不要なしゃべりがなく時間が短い教師の説明
- 9 深い教材研究
- 10 授業による子どもの変容

2019年度 北部教育研修センター研修【後期プログラム実施状況】

期 日	時 間	事業名・講師・内容	参加人数
9/6 (金)	16:00~17:30	中学校英語教諭研修会 英語スピーキング評価基準表学習会 崎浜功美(今帰仁中教諭)	16
9/20 (金)	14:55~16:45	スーパーティーチャー招聘事業 講師:菊池省三先生【小学校6年生 道徳】 菊池道場との共催	102
9/26 (木)	9:25~10:10	アクティブラーニング合同授業 名桜大学玉城先生と英語担当の合同授業	12
10/4 (金)	9:00~12:00 13:00~16:45	管理職マネジメント研修会③④ 教頭対象（構想）兵庫教育大学 校長対象（企画）マネジメント研究会	教頭 18 校長 20
10/18 (金)	14:30~16:45	スーパーティーチャー招聘授業【数学公開授業】 講師：玉置 崇先生（岐阜聖徳学園大学）	25
10/25 (金)	14:15~16:45	養護教諭・安全担当研修会 講師:宮本香代子先生（岡山大学 教授）	30
10/26 (土)	13:00~16:30	菊池先生授業検討会&菊池道場沖縄支部勉強会 北部教育研修センター・菊池道場共催	9
10/29 (火)	14:45~16:45	アクティブラーニング研修会 【公開授業】 講師:石川清一先生(本部中学校校長)	13
11/2 (土)	14:00~16:30	スーパーティーチャー招聘事業 特別支援教育講演会 講師:川上康則先生（東京都立矢口特別支援学校）	99
		9月以降の研修参加人数	344
	日程調整中	アクティブラーニング合同授業 名桜大学玉城先生と英語担当の合同授業	伊江村立伊江中学校
	日程調整中	アクティブラーニング合同授業 名桜大学玉城先生と英語担当の合同授業	東村立東小学校

編集後記

教職員の多忙化が叫ばれる中、本センターでは学校現場のニーズに応えられるような研修内容と講師の選定、参加しやすい時間設定などを工夫しながら企画しているところです。研修会参加者の感想や意見から教師として自己成長への意欲が感じられ、嬉しく思うとともに研修の大切さを強く感じているところです。本センターの研修は、主体的に学びたいという教員の参加を前提としながら、支援が必要な教員の力になりたいと考えて行っています。今後とも、忌憚のないご意見をお寄せください。